



2026年3月19日

各 位

(経過開示) 「Hyper NYAN」大型アップデートに関するお知らせ

当社は、2026年3月3日付「[\(経過開示\) 「Hyper NYAN」におけるWWB無期限先物取引のローンチ完了および機能改修に関するお知らせ](#)」にて既報のとおり、当社が支援する「Hyper NYAN」において、WWBを対象とする無期限先物取引(Perpetual Market)の開発および各種機能改修を進めております。

このたび、「Hyper NYAN」のさらなる機能強化および追加開発について、下記のとおりお知らせいたします。

1. WWBを対象とするPerpetual Marketの改修状況および追加開発について

これまで「Hyper NYAN」において、WWBを対象とするPerpetual Marketについて、オーダーブックの表示、取引履歴の全公開、UI等の改修に取り組んでまいりました。また、これらの不具合改修については、来週中を目途に開発が完了する予定です。

さらに、Perpetual Marketの流動性および利便性をさらに高めるため、Margin trading systemの追加開発を行います。

Margin trading systemについては、Raydiumと「Hyper NYAN」の機能統合を行うことで、Raydium上で取引ができるMargin trading systemを実装し、「Hyper NYAN」にその市況を反映させるUI/UXとすることを想定しております。

これに伴い、現在のWWBに加え、GYAN BLUE(\$NYAN)についてもPerpetual Marketの取引対象銘柄に追加いたします。

2. Option trading systemの実装方針および本取組みの意義

Option trading systemについては、将来的にDEXが中核となる取引環境を見据え、実装に向けて進めてまいります。

また、Margin trading systemおよびOption trading systemの実装については、2026年6月以降を予定しております。

「Hyper NYAN」が多様化するトレーディング環境に対応するとともに、当社が取り扱う各種ユーティリティトークン、ミームトークン、ガバナンストークンについて、より活発

な取引環境を整備することを目的として、継続して「Hyper NYAN」の開発強化を推進してまいります。

3. 事業体制および当社の立ち位置

本プロダクトの事業主体は、アラブ首長国連邦（ドバイ）に所在する法人（以下「ドバイ法人」）であり、当社は当該ドバイ法人との間で締結した匿名組合契約に基づき、本プロダクトに関与しております。なお、ドバイ法人及び匿名組合契約に関する情報等の開示に関しては、相手先のご意向により非開示となります。

当社は、ドバイ法人に対し、技術開発に関する支援、ビジネスデベロップメント支援、マーケティングおよびエコシステム拡張支援を行う立場にあり、本プロダクトの運営主体ではありません。

また、本プロダクトは、当社が日本国内において暗号資産交換業を営むものではなく、資金決済法上の暗号資産交換業には該当いたしません。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。

価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。
「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。
チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。
だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。
HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。
食事と、衣服と、住居と、週末と。
しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、精代と共に移り変わる。
そして、チケット自体の価値も変わる。
硬い金属の箱の裏にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。
交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは遠いところで決定されている。
暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。
世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。
価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。
昔々は貝殻で、ちょっと前はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。
だけど私たちは、目の前で溶けていくかき氷に対して、
貝殻でしか、交換ができないのだろうか？
私たちは、いま・ここで、もっと自由に交換できるはずだ。
abcは、いま・そこから生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。
人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上